

令和5年12月

教育委員会定例会議案等

新潟市教育委員会

令和5年12月教育委員会定例会議事日程

新潟市教育委員会

日 時	令和5年12月26日（火） 午後3時30分 開会
場 所	新潟市役所ふるまち庁舎4階 教育会議室1
日 程	<p>第1 会議録署名委員の指名</p> <p>第2 付議 議案第17号 通学区域の一部変更について・・・・・・・・・・ 1</p> <p>第3 報告 ・令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査について・・・ 1 ・令和7年度（令和6年度実施）新潟市立学校教員（小学校教諭） 採用選考検査方法等の変更について・・・・・・・・・・ 当日配付</p> <p>第4 次回日程 1月定例会 令和6年1月23日（火）午前10時30分</p> <p>第5 閉会</p>

付議事件

議案第17号

通学区域の一部変更について

新潟市立葛塚小学校と豊栄南小学校との統合に伴い、葛塚小学校の通学区域を次のとおりとしたいため議決を求める。

令和5年12月26日提出

新潟市教育委員会
教育長 井崎 規之

通学区域の一部変更について

1 新潟市立葛塚小学校の通学区域

現在の葛塚小学校の通学区域に豊栄南小学校の通学区域の全域（別紙資料及び別紙図面に表示された地域）を加えた区域を葛塚小学校の通学区域とする。

2 通学区域変更の対象者

施行期日以降、該当通学区域に居住する児童

3 通学区域変更の施行期日

令和6年4月1日

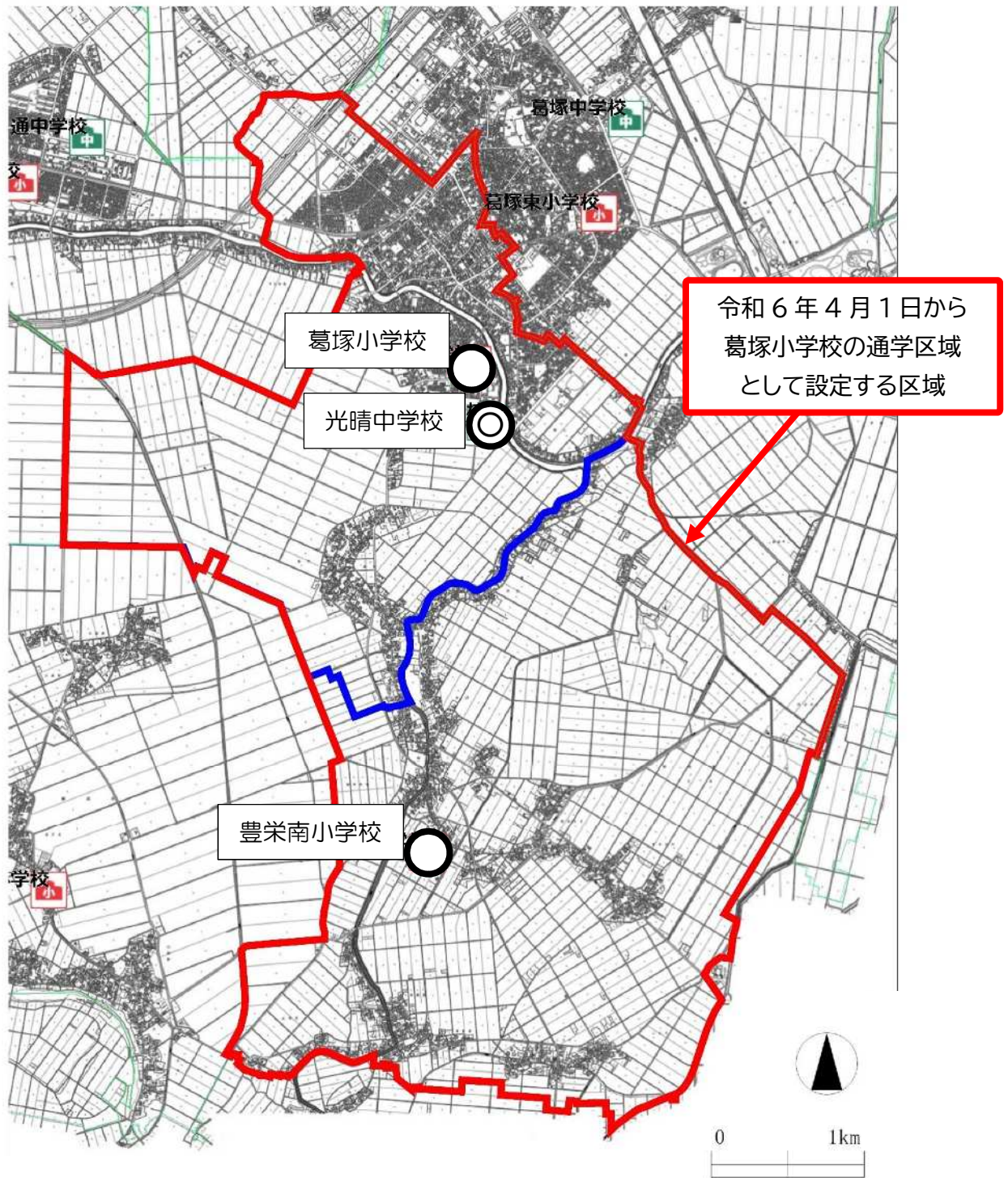
葛塚小学校の通学区域（変更後）

※変更箇所を下線部で示す。

区 名	町 名	地 番 等
北 区	浦 木	全 部
	上土地亀	44～500, 633～941-3, 957-1, 964～971, 1018～2777
	嘉 山	243-2～801
	嘉山1丁目	1番8号, 9号, 32号～38号, 2番18号～51号, 3番～6番
	嘉山2丁目	5番, 6番, 8番, 10番12号
	嘉山3丁目	4番～10番
	嘉山4～6丁目	全 部
	川西1～4丁目	全 部
	葛 塚	96～97-7, 962, 1245-1～1334, 2325～2331-3, 2339-2, 2352-3～2458, 3201-6～3267-3, 3270-1・2, 3300～3392, 3831, 5002-2～5066
	下土地亀	3297-1～-64, 3305-1～-17, 3310-5, 3424-5～-13, 3428, 3428-6～-13, 3436-2, 3440, 3446-1
	長 戸	全 部
	白新町1～4丁目	全 部
	前新田	乙20-2, 乙21
	美里1・2丁目	全 部
	柳原1丁目	4番～11番, 11番地～13番地
	柳原2～7丁目	全 部
	内 沼	<u>156～2033, 甲(全部), 乙(全部),</u> <u>丁32, 丁33, 丁809～丁881</u>
	大 月	<u>全 部</u>
	岡新田	<u>全 部</u>
	上大月	<u>全 部</u>
上堀田	<u>全 部</u>	
里飯野	<u>全 部</u>	
長 場	<u>全 部</u>	

旧豊栄南小通学区域

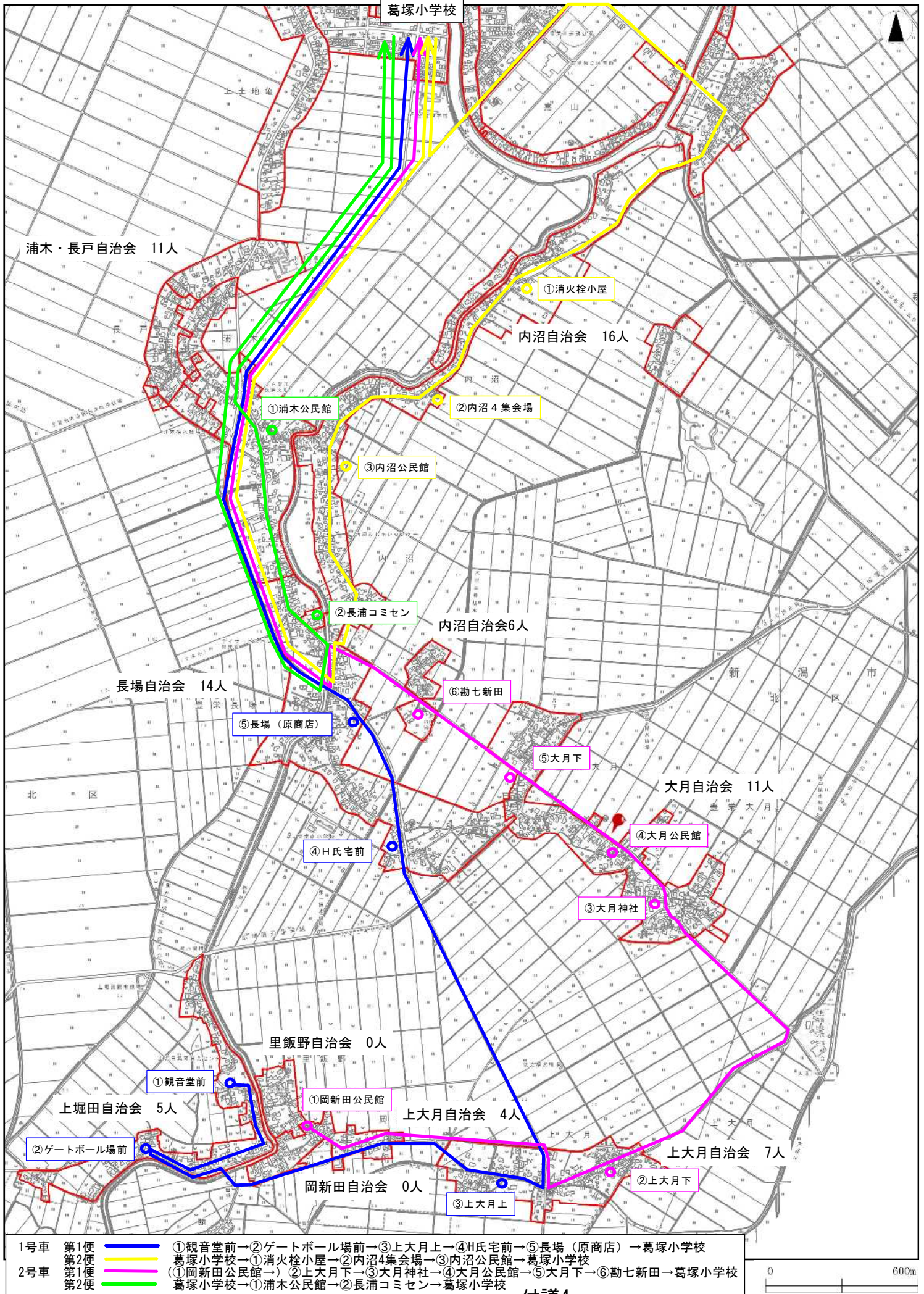
新潟市立葛塚小学校 通学区域概図 (令和6年4月1日～)



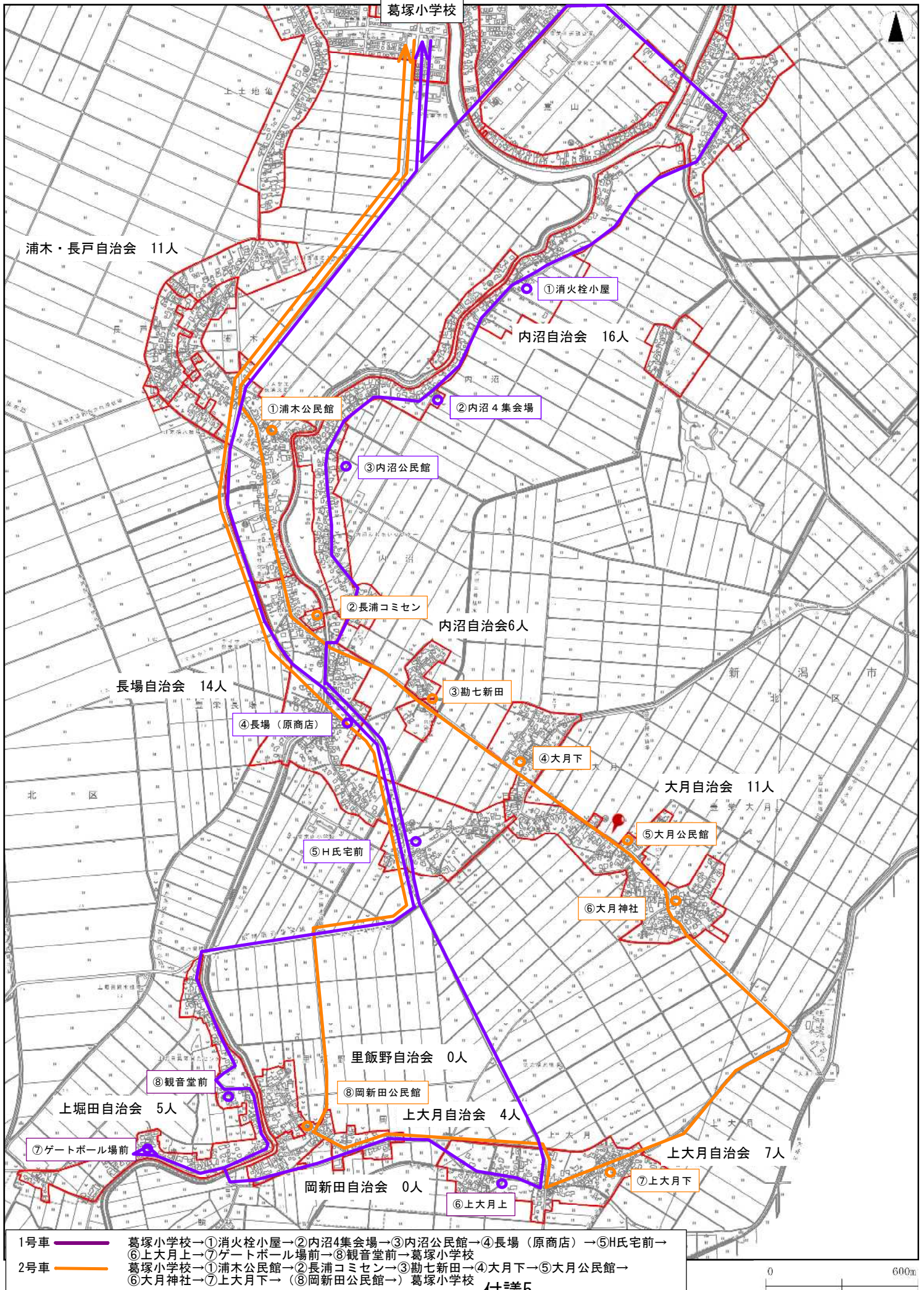
学級数・児童数の状況

	令和5年度	令和6年度
豊栄南小学校	6学級 52人	19学級 518人
葛塚小学校	17学級 480人	
光晴中学校	10学級 306人	10学級 302人

※ 令和5年度の児童生徒数・学級数は実数（特別支援学級を除く）。令和6年度は推計値。
(令和5年5月1日)



1号車	第1便	①観音堂前→②ゲートボール場前→③上大月上→④H氏宅前→⑤長場(原商店)→葛塚小学校
	第2便	葛塚小学校→①消火栓小屋→②内沼4集会場→③内沼公民館→葛塚小学校
2号車	第1便	(①岡新田公民館→) ②上大月下→③大月神社→④大月公民館→⑤大月下→⑥勘七新田→葛塚小学校
	第2便	葛塚小学校→①浦木公民館→②長浦コミセン→葛塚小学校



報 告

令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

1 調査の目的

子どもの体力の状況を把握・分析することと、その改善を図る。

2 調査の対象となる児童生徒

国・公・私立学校の以下の学年を原則として、全児童生徒を対象

(1) 小学校調査 小学校、特別支援学校小学部 第5学年

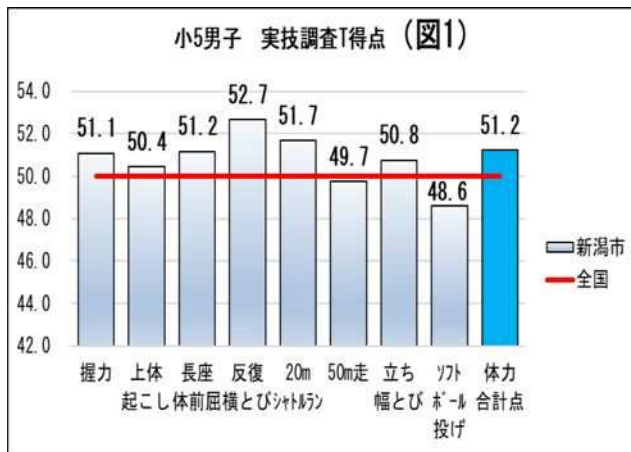
(2) 中学校調査 中学校、中等教育学校、特別支援学校中学部 第2学年

3 調査事項

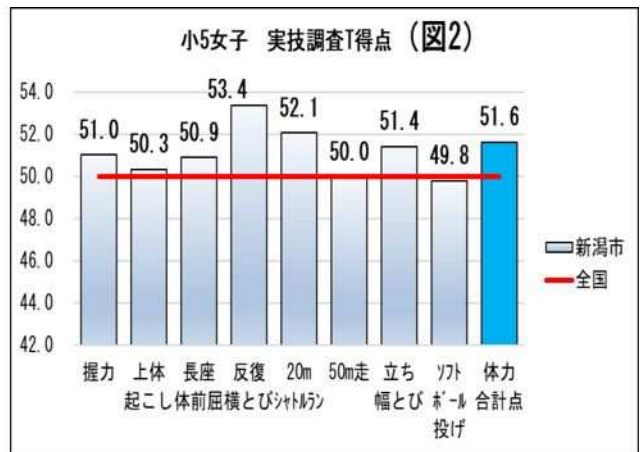
実技に関する調査、質問紙調査（運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査）

4 令和5年度新潟市調査結果概要

(1) 小学校5年生 実技 ※ () は昨年度順位



〔政令指定都市別〕全国1位 (1位)

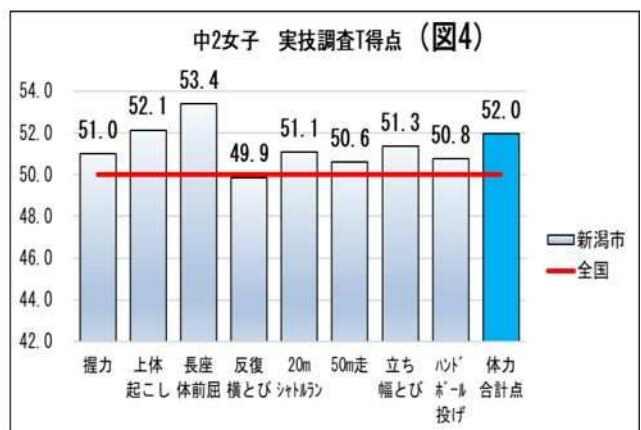


〔政令指定都市別〕全国1位 (1位)

(2) 中学校2年生 実技 ※ () は昨年度順位



〔政令指定都市別〕全国1位 (1位)



〔政令指定都市別〕全国2位 (4位)

※中学校2年生では、シャトルランを持久走に置き換えて実施してもよいこととなっているが、本市では全中学校が体力テストでシャトルランを行っている。

(3) 質問紙調査 ※ () は昨年度数値

①本市が全国平均を上回っている質問項目

- ・健康三原則（運動、食事、休養または睡眠）への意識
- ・体育や保健体育の学習時のICT活用の割合
- ・ICT活用により運動の仕方がわかる、できると実感している児童生徒の割合

②本市が全国平均を下回っている質問項目

- ・運動やスポーツへの好感（中2女子）
- ・体育や保健体育の授業への楽しさの実感（小5男子、中2男子・女子）

(4) 学校質問紙（新潟市の取組の実態）

①自校の体力面の課題を焦点化し、計画的に体力向上ジャンプアップを実施（取組例）

- ・校内で実技講習会を設定し、指導方法や授業マネジメントについて検討
- ・体育的行事や児童会・生徒会活動とタイアップし、運動機会を拡充
- ・健康増進・生活リズム改善のために、中学校区全校で共通した取組を実施

②体育授業指導者研修会を行い、教員に指導法や理論を伝達

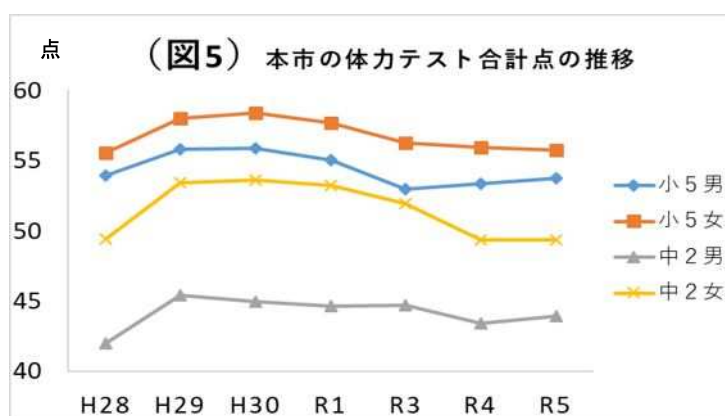
③体育や保健体育の授業での多様な方法でのICT端末利用

5 調査結果から

体育授業では、運動時間を大切にしながらも、ICT端末の活用については、自分の動きを記録したり、作戦を共有したりする等、児童生徒が適切に利用の目的や方法を判断し、主体的な学習が展開できるよう、研修会等で伝えていく。この主体的な学習が、運動の好感や楽しさの実感に繋がると考える。

政令指定都市における順位や体力テスト合計点の全国平均と比較すると、新潟市は上位に位置しているが、コロナ前と比較すると小中男女とも体力得点は低い傾向にある。（図5）

しかし、いずれの校種でも下降幅が減少、または上昇に転じてきていることから、市全体としてはコロナによる運動制限があった時期の影響は少なくなっていると考えている。



(※得点基準は男女により異なる)

令和5年度 政令指定都市別 体力テスト合計点^{※1}(速報)

	小学校5年男子		小学校5年女子		中学校2年男子		中学校2年女子	
1	新潟市	53.74	新潟市	55.72	新潟市	43.92	千葉市	49.69
2	北九州市	53.38	北九州市	55.18	北九州市	43.46	新潟市	49.35
3	千葉市	53.32	千葉市	54.63	千葉市	42.65	浜松市	49.15
4	熊本市	52.90	熊本市	54.52	仙台市	42.11	静岡市	49.11
5	京都市	52.86	静岡市	54.30	浜松市	42.04	北九州市	48.65
6	福岡市	52.82	浜松市	54.09	静岡市	41.91	さいたま市	47.01
7	神戸市	52.69	さいたま市	53.82	熊本市	41.16	大阪市	46.99
8	仙台市	52.56	京都市	53.75	広島市	41.05	熊本市	46.53
9	静岡市	52.35	仙台市	53.74	京都市	40.87	京都市	46.47
10	さいたま市	52.10	神戸市	53.39	大阪市	40.79	広島市	46.25
11	浜松市	51.91	福岡市	53.19	福岡市	40.65	岡山市	46.09
12	広島市	51.89	広島市	52.96	岡山市	40.64	神戸市	46.00
13	川崎市	51.53	大阪市	52.67	さいたま市	40.46	福岡市	45.87
14	堺市	51.52	岡山市	52.65	堺市	39.90	仙台市	45.67
15	札幌市	51.32	川崎市	52.34	神戸市	39.78	堺市	45.05
16	岡山市	51.28	札幌市	52.26	横浜市	39.26	横浜市	44.15
17	大阪市	51.13	堺市	52.25	相模原市	38.82	川崎市	43.92
18	横浜市	51.11	名古屋市	51.94	名古屋市	38.60	名古屋市	43.90
19	相模原市	51.08	相模原市	51.74	札幌市	38.23	相模原市	43.62
20	名古屋市	50.25	横浜市	51.65	川崎市	38.12	札幌市	41.52

※1 体力テスト合計点…各種目の記録を点数化し、合計した点数の合計点

令和5年度 全国体力・運動能力・運動習慣等調査について

資料 2

【児童・生徒質問紙】		設問1 運動やスポーツをすることが好き	設問2 朝食を毎日食べる	設問3 体育・保健体育の授業は楽しい	設問4 目標を意識した学習で、できたり分かったりする	設問5 友達と助け合ったり教えあったりする学習で、できたり分かったりする	設問6 ICTを使って学習すること、できたり分かったりする	設問7 保健で学んだ運動、食事、休養および睡眠に気をつけた生活を送っている
小学校 5年男子	全国	92.9%	95.9%	94.6%	82.9%	82.9%	55.4%	82.6%
	新潟市	93.7%	97.4%	93.9%	84.5%	83.8%	66.8%	85.1%
小学校 5年女子	全国	85.7%	96.3%	89.9%	82.1%	85.4%	57.2%	82.9%
	新潟市	87.1%	97.6%	90.5%	84.4%	87.2%	70.0%	86.3%
中学校 2年男子	全国	89.2%	93.6%	89.4%	82.7%	84.1%	55.2%	78.0%
	新潟市	89.7%	95.2%	86.0%	84.7%	87.0%	67.5%	82.5%
中学校 2年女子	全国	76.4%	93.2%	82.6%	82.2%	85.9%	54.2%	70.9%
	新潟市	74.1%	95.2%	76.3%	84.5%	87.3%	69.6%	75.1%

※設問2、設問7等の間については全国的に上位にあり、健康的な生活を送ろうとする意識が見られる。

※設問1、設問3で、全国平均値を下回った項目（数値細字）があった。「できる」「わかる」授業を目指すとともに、「楽しさ」を実感できる授業づくりが求められる。

【学校質問紙】		設問1 体力・運動能力向上のための学校としての目標を設定している	設問2 体育・保健の授業で話し合う活動をしての学年で行っている	設問3 体育・保健の授業でICTを活用している（毎時間～1週間に1回以上）	設問4 運動やスポーツが苦手（嫌いな児童生徒に合わせた取組を行っている	設問5 研修等に参加し、自校の体力向上に係る取組に反映させている	設問6 健康三原則の大切さを見童生徒に伝えている	設問7 運動やスポーツ、児童生徒の体力について家庭と連携している
小学校	全国	78.9%	60.2%	34.9%	50.8%	74.6%	92.6%	87.0%
	新潟市	92.3%	70.2%	46.2%	65.4%	77.9%	96.2%	95.2%
中学校	全国	69.1%	87.8%	49.0%	66.2%	77.5%	96.6%	68.5%
	新潟市	90.7%	100.0%	64.8%	77.8%	81.5%	98.1%	83.3%

※例年、学校で「体力向上ジャンプアップ」の計画に基づいて目標を設定し、授業等を通じて児童生徒の体力向上に取り組んでいる学校が多い。

※互いの体の動きや試合の様子を撮り合って改善や作戦に生かすなど、授業でICTを有効活用し、運動が苦手な児童生徒にも応じた授業づくりを行っている。